

税法演習Ⅰ

必修 4単位

岩崎 健久

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、春期・秋期を通じて、現代日本の税法の詳細について解説を行います。特に、法人税法、所得税法、消費税法等に関する判例・裁決例研究を行い、これらの税法を様々な角度から分析、検討し、修士論文執筆に必要な知識を説明しながら、論文指導をします。

2. 授業の到達目標

日本の税法全般について理解することを目標とし、税法に関する修士論文を執筆できるレベルまで、法人税法、所得税法、消費税法等についての理論、これらの税法をめぐる事例の争点を修得することを目標にします。

3. 成績評価の方法および基準

授業への貢献度を20%程度、レポート課題を80%程度として評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

岩崎健久 『租税法』（税務経理協会）

岩崎健久 『消費税の政治力学』（中央経済社）

5. 準備学修の内容

税法に関する著書、論文を読み込み、先行研究を行うなど修士論文執筆に向けて準備をしてください。

6. その他履修上の注意事項

私語は厳禁です。毎回出席して下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 <春期>
税法の基礎的理論(意義、分類)について総まとめをします。
- 【第2回】 わが国の税法体系について解説します。
- 【第3回】 法人税法に関する判例・裁決例研究をします。
- 【第4回】 所得税法に関する判例・裁決例研究をします。
- 【第5回】 消費税法に関する判例・裁決例研究をします。
- 【第6回】 相続税法に関する判例・裁決例研究をします。
- 【第7回】 修士論文執筆のための判例研究の報告をしてもらいます。
- 【第8回】 第7回において指摘された問題点について報告をしてもらいます。
- 【第9回】 法人税法に関する判例・裁決例研究をさらに進めます。
- 【第10回】 所得税法に関する判例・裁決例研究をさらに進めます。
- 【第11回】 消費税法に関する判例・裁決例研究をさらに進めます。
- 【第12回】 相続税法に関する判例・裁決例研究をさらに進めます。
- 【第13回】 修士論文執筆のための判例研究の報告をしてもらいます。
- 【第14回】 第13回において指摘された問題点について報告をしてもらいます。
- 【第15回】 総まとめを行います。
- 【第16回】 <秋期>
夏休み中に行った判例研究の報告をしてもらいます。
- 【第17回】 地方税法について解説します。
- 【第18回】 住民税について解説します。
- 【第19回】 事業税について解説します。
- 【第20回】 固定資産税について解説します。
- 【第21回】 修士論文執筆のための判例研究の報告をしてもらいます。
- 【第22回】 第21回において指摘された問題点について報告をしてもらいます。
- 【第23回】 法人税法に関する最新の判例・裁決例について解説します。
- 【第24回】 所得税法に関する最新の判例・裁決例について解説します。
- 【第25回】 消費税法に関する最新の判例・裁決例について解説します。
- 【第26回】 相続税法に関する最新の判例・裁決例について解説します。
- 【第27回】 修士論文執筆のためのさらなる判例研究の報告をしてもらいます。
- 【第28回】 第27回において指摘された問題点について報告をしてもらいます。
- 【第29回】 国税について総まとめを行います。
- 【第30回】 地方税について総まとめを行います。